

# 令和2年度 自己評価書

2021 (令和3年) 3月  
学校法人高橋学園  
千葉学芸高等学校

## 1. 学校教育目標

### 〈1〉建学の精神と教育目標

建学の精神「創造」	
教育目標	1. 心の創造 強い精神力と思いやりの心 2. 智の創造 知性と判断力 3. 美の創造 感性と技芸

#### 建学の精神

建学の精神は私立学校にとってその教育の最も根幹となる目標を示すものであり、すべての教育活動を建学の精神に位置づけて行われる。千葉学芸高等学校では、建学の精神「創造」のもと、美しい人類文化の創造にあたる実力を備えた人材の育成を図る教育活動を展開する。

#### 教育目標

教育目標は、建学の精神「創造」の具現化のため、心・智・美の観点から獲得を期待する知識技能能力の内容を示す。

心の創造においては、物事への集中や忍耐のできる強い意志を備えつつ、優しい思いやりも併せ持つ人間性の涵養を図る。

智の創造において、知性を磨き、知識を蓄積するのは正しい判断のできる理性を備えるためである。

美の創造においては、美しいものを美しいと感じ、それを言葉や身体で美しく表現できる能力や技能の獲得を図る。

### 〈2〉教職員および生徒の行動目標

教育目標の実現のため教職員は、以下の信条のもとに教育活動にあたる。

#### 《職員の信条》

- (1) 建学の精神を生かし、日本人の特性と校風を高揚せん
- (2) 自己の誇りと責任を自覚し、全機能の発揮に当たらん
- (3) 親和・協力の心を基とし、内容の充実を求めん
- (4) 良き社会人たる素質を磨き、生徒の進路に万全を期せん

生徒は、以下の誓いのもとに学校生活の充実を期す。

#### 《誓いの言葉》

- (1) よい伝統と、よい校風をつくります
- (2) はつらつとした若さで学力・技能を磨きます
- (3) 愛敬の心を生活に表します

また、以下の学年目標に沿って自己の研鑽・向上を図る。

1 学年の目標	<p>《自学》</p> <p>私たち1年生は、次の目標をしっかりと実行して進みます。</p> <p>(1) 高校生としての礼法・言語・動作を立派に築きます</p> <p>(2) 友情・協同の精神を発揮します</p> <p>(3) 自信の持てるまで努力いたします</p>
2 学年の目標	<p>《充実》</p> <p>私たち2年生は、学校の中心となり、充実した学年を築きます。</p> <p>(1) 自分の将来の方針をたて、目標達成のために根強い努力をします</p> <p>(2) 愛校・友情の精神を一日の生活に表します</p> <p>(3) 自信の持てる力と人格を築きます</p>
3 学年の目標	<p>《独立》</p> <p>私たち3年生は、自分の将来の方針をたて、最高学年として人格を磨き、よい社会人となります。</p> <p>(1) 全校のよき指導者となります</p> <p>(2) 社会にたつ一切の準備をいたします</p> <p>(3) 自己の誇りと責任を自覚し、協力貢献を実践します</p>

### 〈3〉 年度目標

以上を踏まえて、令和2年度の目標を以下のように設定した。

令和2年度学校目標 『学びをまなぶ』
--------------------

One Up (ワンナップ) は「一歩リードすること」。

千葉学芸高校として22年目。本年度のスローガンは「学びをまなぶ」とした。

昨年度の「学びの探究」を経て、次の段階としては、学び方そのものを学ぶことで、自分自身を教化する「メタ学習能力」を獲得することを目指す。具体的には、Eラーニングを用いた学び直しを通じ、学ぶ楽しさを再発見することから着手する。

1年生に基礎学習ドリル「マナトレ（国英数）」を導入して基礎からの確認を行うとともに、実力テストの結果などから把握した低学力層の生徒に学び方支援として、基本となる国語力を身につける補習を展開する。

メタ学習能力は、21世紀スキルという現代的な学力観に基づくもので、受け止めるだけではなく、自らわからないことをわかろうとする探究的な学びの姿勢が重視され、2022年実施の新学習指導要領における学びの柱の1つにも位置づけられている。

新学習指導要領では、「学ぶとはどのようなことか」「知識とは何か」といった研究から、『人生を主体的に切り拓（ひら）くための学び』が、21世紀の学びの姿となった。学校から社会へとスムーズにつながっていくためにも、高校生までに身に付けておくべき資質能力が明確になる必要があり、学ぶべき資質・能力が3つの柱で整理された。

- 1) 「何を知っているか、何かできるか（個別の知識・技能）」
- 2) 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」
- 3) 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」

これらは、「生きる力」と呼ばれる人間力の要素でもある。教科の学習はもちろん、学校行事などの体験や、クラブ活動で養われる趣味や豊かな人間性、コミュニケーション力など、総合的な実力が、学校での学習活動の中で育まれるように工夫し、実力を伸ばすチャンスをたくさん設定することとし、

さまざまな活動にチャレンジをし、実力を磨く活動を行う。

上記目標に主眼をおきながら、人格形成・コミュニケーションの充実、学力向上・技能獲得向上・資格取得、進路開拓などを目指して教育学習活動にあたる。特に特性の伸長、人間性の育成、技能教育を重視し、色彩教育、情報教育、福祉教育、環境教育、国際教育などに関連する授業や学校行事、クラブ活動などの諸活動の展開・充実を期す。

なお、2020年の新型コロナウイルス感染症の流行等に伴う臨時休業や国の施策の変更などを受けて、ICT環境整備について2022年を目途としていた構想を前倒して2020年度に以下のように整備を実施した。

教職員にiPadのタブレット端末を配布し、授業と校務分野での活用を開始して6年目となる。ベネッセ社の学習支援システムClassi（クラッシー）を生徒対象に導入し、実力テスト（基礎学力テスト）の誤答分析をもとに苦手単元のEラーニング動画教材を提示するなど、学習を支援するシステムを運用している。同様に教員に配布していたノートPC（VAIO）はカメラを搭載していたため、コロナ感染症による臨時休校時のオンライン授業の展開に即戦力で役立てられた。

2007年から導入したEラーニングは、ベネッセの学習動画（2万本）を基本とし、リクルートのスタディサプリ4万本を受験対策として進学コース及び希望者に追加導入した。いずれも特別割引価格で生徒に提供する協定を両社と結んでいる。小学校4年の算数から大学受験まで幅広くカバーするEラーニング体系となっている。

施設設備面では、国による小中学校のギガスクール構想が2020年度に前倒しされたことを受けて、2020年10月に生徒ひとり1台のタブレットPCとしてChromebookを551台導入し貸与を開始した。併せて、教職員用PCおよびiPad miniの更新とWi-Fi 6規格へのネットワーク機器の更新も実施した。生徒用のタブレット端末導入は文部科学省の補助金を活用した。

## 2. 学校の概要

学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校

〒283-0005 千葉県東金市田間 1999 番地

TEL 0475-52-1161

FAX 0475-52-1163

インターネット <http://www.cgh.ed.jp/>

電子メール [info@cgh.ed.jp](mailto:info@cgh.ed.jp)

令和2年度 学級数・生徒数	1学年	5学級	195名
	2学年	5学級	189名
	3学年	5学級	167名
	全校	14学級	551名

学校の概要については、インターネットホームページで公表。また、コースガイド、創立130周年記念誌等の冊子にて紹介している。

## 3. 各部門の活動内容・活動状況（学校要覧）

学校の特色、および以下の事項等については、令和2年度学校要覧（冊子全116頁、関係者向け5月刊

行)に記載。

- ・学校施設・設備、校舎面積
- ・学校行事の内容
- ・生徒会活動の内容
- ・クラブ活動の内容
- ・教職員の担当学年、担当教科、校務分掌、授業の持ち時間数、所持免許状の種類
- ・校内研修の内容
- ・学習指導（授業時数、時間割、総合的な学習の時間の内容）
- ・学籍・出欠席統計
- ・生徒指導上の諸問題及びそれに対する学校の対処や指導の状況
- ・新型コロナウイルス感染症への対応の記録（特別収録40ページ）
- ・進路の状況
- ・安全管理・保健管理（保健安全、防犯対策、防災対策）
- ・各部門の予算執行状況
- ・父母の会活動状況、地域との連携等の状況

#### 4. 自己評価（令和2年度）

##### A. 全般の評価

###### (1) 評価

全般評価：良好

###### (2) 課題と改善策

全般に関わる特に重要な課題として、生徒募集および学力の向上の2つを取り上げる。  
次に、令和2年度のトピックとして、新型コロナウイルス感染症への対策等について述べる。

##### 概況

2020年1月頃から新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、3月2日より全国一斉臨時休校を実施、4月7日に感染症緊急事態宣言発出、2020年から2021年に東京オリンピックは延期など、社会的な混乱が続いている。

##### 生徒募集状況の課題

令和2年度の新入学生徒数は前年－5名であり、前年・前々年の＋5、＋24から減少に転じた。近郊の中学卒業生数が減少する中で、近隣公立高校の定員が過剰気味のため厳しい状況が続いており、私学の定員割れが続くなど環境が悪化する中でも、広報部を中心に生徒募集の努力をした結果、募集定員の7割程度が確保できた。印旛地区・山武地区の中学校長を経験した広報担当職員、印旛地区から県中学校長会会長経験者のほか、生え抜きの広報人材も経験を積み熱心に活動した成果である。千葉市などからの志願者入学者増が好材料となっているほか、野球部の広範囲からの生徒募集も奏功している。

令和3年度の生徒募集では、県全体で中卒数が2000人減少という異例の年にあたっており、公立学校の入学定員も県全域で削減が行われているが、山武地区では2学級減（成東、東金商業各1）に留まり、中学校卒業生数の減少と、累積的な過剰枠（＝私学の未充足枠）に対応して必要となる6学級程度の削減要望は満たされず、非常に厳しい状況であった。そのような中でも、前年＋5の200名の入学者を得ることができたのは幸甚であった。野球部、吹奏楽部などの部活動でのスカウト活動に応える生徒も増加して

きており好材料となっている。コロナ禍の中で県下3校しか行われなかった全面オンライン授業への取り組み、タブレットPCの全生徒への貸与など、学修支援を誠実に展開していることも評価されている。

千葉県私学教育振興財団の協力のもとで設けた入学資金貸付制度は3年目となったが今回の利用は1名のみであった。社会福祉協議会などでの公的貸与が拡充したことが考えられる。

本校の在学生の教育向上・進路状況は良好であり、困難な生徒募集状況は近隣公立学校定員過剰・公私学費格差等の外部要因によるものが主である。公立高校の募集人員増減により直接左右される状況は脱していく必要があり、受験生から選ばれるための魅力を一層高める必要がある。生徒募集の拡大のためには、内容の充実、広報・PRの工夫等の自己対処方策の充実発展により改善を図っており、授業料減免制度や奨学金制度の周知により私学を敬遠する意識の解消にも努めている。その結果、約6割が授業料減免制度を利用するなど、公私学費格差を乗り越える状況が生まれつつある。

今後も、環境悪化にも耐える体質改善を図るとともに、一層の広報努力によって生徒獲得を展開しなければならない。中学校教員も世代交代しており、本校ならではの数々の優れた特質について、中学校現場で十分には知られていないことが懸念される。より丁寧でわかりやすい広報が必要であり、広報活動の質的量的改善も図っていく必要がある。県教委の動向を注視し、展望をもって取り組んでいきたい。

#### 学力の向上

12年前から言語表現力の向上に取り組み、国語科および学年会による漢字学習指導、作文指導、全校漢字学力テストの複数実施、校内漢字検定を継続している。常用漢字の書き取りについて、個々の生徒の繰り返しの学習成果は着実に現れ、作文でもほとんど漢字が書けなかった生徒が、適切な漢字かな交じりで文章を書けるようになるなどの効果が生まれた。80字程度の短文で学校生活の記録をまとめるというR80学習を、記述式入試問題対策の一環としても展開している。基礎学力を身に付けたことに自信を深めた生徒が他の学習に意欲的に取り組む姿もみられ、教師による学習の働きかけと継続的な指導が奏功している。校内文芸コンテストも第7回を迎え、年間を通じて授業課題などで提出された作文や文芸作品から優秀作品を選んでいる。学習ドリルのマナトレや、低学力層への週2回の補習（国語）の実施により、基礎力の定着を図り、高校卒業に相応しい学力を全員が身につけた上で、上位者はさらに深化拡大した学びを追求するよう促している。

学力上位者については、朝夕の特別学習講座に加え、eラーニングビデオ教材を活用して特別進学に対応する学習に取り組み学力向上を図った。城西国際大学・東京情報大学・千葉工業大学・日本大学をはじめ多数の指定校推薦枠を得ているほか、難関私立大学や大学入試センター試験を経て国立大学に挑戦するレベルの生徒もあり、進学コース設置の効果が現れつつある。

近年は看護学部・看護学校への進学も多く見られる。理学療法を専攻するものもあり、医療福祉系に伸びがみられるので、推薦制度も活用しながら今後も拡大を図りたい。一般受験でも歯学部などへの合格者を輩出したほか、自転車競技部・野球部を中心としてスポーツ推薦で進学があった。

#### 施設設備の拡充

##### (1) セミナーハウス屋根改修

セミナーハウス（合宿所）の屋根を更新。これによりアスベスト建材の除去が完了。

##### (2) ChromebookタブレットPCの導入

生徒一人に1台のタブレットPCとしてクロムブック551台を導入し、全校生徒への貸与を開始した。オンライン学習への対応や、ICTを活用した学びなど、教育の情報化を目的としている。国のギガスクール構想の前倒しにより、令和3年4月入学生から中学での1人1台環境を経験した生徒が入学することへ

の対応。

（3）ネットワーク改修

校舎全体のネットワークを更新。10ギガビットを基幹として、Wi-Fi 6規格(IEEE 802.11ax)の無線LANに移行した。

（4）感染症対策のための設備拡充

昇降口手洗所8基の設置や、赤外線体温測定装置2基の設置のほか、アルコール消毒、手洗い、非接触体温測定、CO2濃度測定器など、感染症対策のための設備備品を整えた。

災害

自然災害による損害は微細（台風）であった。

栄誉の記録

- ・全国優勝 空手（個人） 2年三ヶ島玲奈選手。ジュニアチャンピオンシップ。
- ・全日本代表選出 自転車競技（個人）3年中村凌輔選手。
- ・高校野球大会ベスト8 夏・秋 野球部。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

春期休業をはさんで4月6日始業式。7日緊急事態宣言、8日入学式、9日より臨時休業。

入学式は新入生と保護者（同居）のみの参加で、式歌は斉唱せず演奏のみ。

臨時休業は5月25日まで。休業期間中の授業日数35日のうち、オンライン授業23日、臨時登校日（健康診断、基礎学力試験）6日、臨時休業6日で、ほとんどをZoomによる双方向の対面式オンライン授業を実施。父母の会総会は書面開催。緊急事態解除後、5月26日からクラブ活動解禁、5月29日に1年生心電図検査。

マスク、アルコール消毒液を早期に手配。5月の学校再開時に全校生徒に不織布マスク50枚配布。

夏期研修は、非宿泊とし総合グラウンドで2日間、夏期東金研修として実施。研修中の運動競技については中止となった体育祭の代替として実施。ウォークラリーは市内をごみ収集を兼ねたボランティアウォークとして実施した。

学園祭は、一般の参加を中止し、生徒と保護者のみを対象として開催。一般にはオンライン学園祭としてWeb上での発表を行った。なお、催し物会場は完全無観客として、ライブ動画で視聴する方式とした。

2学年修学旅行はシンガポールへの海外研修を中止し、3月9日から九州長崎への3泊4日の研修を実施。

3年スケート教室（社会見学を兼ねて1泊、富士急ハイランド）、2年スケート教室（千葉）を実施。1年スキー教室（新潟県塩沢2泊）は、緊急事態宣言を受けて、3月9日からの日程に延期して実施。

感染症対策の上で、ほとんどの学校行事を実施できたことには、生徒および保護者の満足度は高かった。

また、年間を通じて、生徒および教職員に新型コロナウイルス感染陽性者はいなかった。（家族が陽性で濃厚接触者として出校停止となった事例はあるが、生徒本人は陰性であった）。

B. 部門ごとの評価（学校要覧に記載）

5. 学校関係者評価

学校運営会議開催（11月）。

生徒（2～3月）に学校評価アンケートを実施。保護者は実施できなかった。

以上